

令和2年度第8回伊予市行政評価委員会 会議録

日 時：令和3年2月10日（水）18時45分～19時30分

場 所：伊予市庁4階大会議室

出席者：妹尾克敏委員長、西田和眞副委員長、倉澤生雄委員、小倉揮代委員、篠崎
加代委員、木本敦委員

事務局：未来づくり戦略室（皆川・岡井・曾我部）

傍聴者：なし

1 開会

会議の成立を確認した。

2 議事

（1）【報告】令和元年度事務事業・施策評価最終結果について

（2）令和3年度外部評価（令和2年度事務事業）事業選定について

（3）その他

3 閉会

(1) 【報告】令和元年度事務事業・施策評価最終結果について

(事務局)

令和元年度事務事業・施策評価の最終結果について説明する。12月伊予市議会定例会において報告を行い、その後ホームページで公開しているものである。

まず、「令和元年度事務事業における 行政評価結果 報告書」をご覧ください。表紙をめくると、右側のページに報告書の見方というページを設け、各項目の説明を記載している。さらにページをめくると、見開き2ページが1セットとなっており、左側から担当課、自己判定から最終評価までの判断を記載し、それに付随するコメントがある場合は右側の偶数ページに記載している。全576事務事業の評価の一覧となっている。

5ページのNo.86 意思疎通支援事業の外部評価の欄に、別冊P1のとおりとある。資料「別冊 令和2年度外部評価結果」をご覧ください。資料の1ページ目に、この事業に係る外部評価結果が記載されているということである。内容については既に確認をいただいた内容であるが、最初の資料と合わせるため、事業を並び替えて製本している。

次に、「令和元年度施策評価」について説明する。第2次伊予市総合計画で定められた基本方針に基づく24施策ごとの成果指標を掲げ、年度ごとの進捗及び結果分析を行い、次年度に引き継ぐということにしている。

資料の1、2ページをご覧ください。各施策を構成する事務事業評価をベースとして、施策としての評価や進捗状況を明らかにしたものとなっている。

以上の3つの報告書を最終結果として、議会へ報告した。議員からは個々の事業に対する質疑があったが、行政評価の手法や在り方についての意見はなく、滞りなく受理されたことを報告する。

(2) 令和3年度外部評価（令和2年度事務事業）の事業選定について

(事務局)

資料、「令和2年度施策評価（案）」及び「第8回行政評価委員会 資料」をご覧ください。

まず、施策評価について説明する。令和元年度の施策評価の資料から、構成する事務事業を令和2年度事務事業に更新したものである。

重要欄に「○」が入っている事業は、担当部署が各施策の推進にあたり重要と判断する事務事業に加え、施策に所管事業が1つしかない場合は、重要事業と判断している。これは各課で必ず1事業以上は重要事業を入れることで、行政評価への取組に関し各課の温度差をなくすために実施している。また、今回から経営者会議において「さらに重点化」と判断された事務事業にも「○」を入れている。

左側の上にあるレーダーグラフは、市民満足度調査を基に、施策の重要度と満足度を指標化したものである。本年度実施した満足度調査の結果及び前回の平成30年度実施の結果を比較できるようにしている。

施策を構成する重要事務事業と施策の重要度、満足度をまとめた資料が、「第8回行政評価委員会資料」である。この資料の外部評価欄に、ここ4年間で外部評価に諮られた実績のある事務事業には年度を入れているが、かなりの事業に記載がある。このことから、各施策を推進する重要事業は、あまり変化がないことが分かる。

以上を踏まえ、次年度の外部評価で評価する事務事業の事業選定について説明する。まず、次年度の外部評価も本年度同様に、2次判定において外部評価に諮るとされた事務事業及び行政評価委員会が選定した事務事業で構成し、今年度と同数程度の概ね25事務事業になるよう事務局で最終調整したい。

委員会資料の中から、

①重要事業のうち、これまで評価していない事務事業や、これまでに評価されたが、その後の経過をみたい事務事業

②本年度の市民満足度調査の結果、重点改善分野及び改善分野にある施策（太字、下線のあるもの）に該当し、経営者会議において「見直しの上、継続」と判断された評価対象の事務事業

③その他、事務局案以外の確認したい事業

を、各委員の意見を頂き、選定したい。すでに次年度の外部評価に諮るとよいと考える事務事業を4つ程度ピックアップして頂いているので、意見を順番に頂戴したい。それらを取りまとめ、次年度の案とさせていただきたい。参考までに、去年は21事務事業を選択している。ご審議をお願いしたい。

（委員長）

事務局から提案があったが、これまでのような審議スタイルを踏襲し、各委員から意見を出してもらって選定していく手法でよろしいか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、順番に各委員の意見を発言してもらいたい。

（委員）

1-⑥ 道路補助災害復旧事業

とても金額が多い。経営者会議において「さらに重点化」と判断されていないが、所管課による重要事業選定を受けている。

2-③ （介保）一般介護予防事業

金額はそれほど大きくなく、本年度の行政評価委員会で審議した事業ではあるが、これからの社会において非常に重要な事業である。

4-③ 商工振興助成事業

本年度の行政評価委員会で審議した事業ではあるが、新型コロナウイルス感染症によって状況が変わっているだろう。金額も多くなっており、重要な事業と考えられる。

5-③ 広報紙発行事業

金額はそれほど大きくはないが、経営者会議において「さらに重点化」と判断されている。伊予市の広報紙を見ていて思うのは、松山市はもっと簡素なものであるが、伊予市はすごく丁寧に作られている。このあたりの差をどのように考えているのか、今後の方向性なども確認してみたい。

(委員)

1-⑥ 消防団設備事業・消防団施設事業

どちらかの事業が評価に馴染まないものだったかもしれないが、消防団の状況を確認したい。

3-① 小学校 GIGA スクール整備事業・中学校 GIGA スクール整備事業

整備事業であるため、あまり中身はないかもしれないが、GIGA スクールは社会的な話題である。評価対象であれば、事業内容等を確認したい。国からの予算を受けて実施している事業であると考えられるため、評価対象外になるかもしれない。

4-③ 商工振興助成事業

本年度の行政評価委員会で審議した事業ではあるが、事業の在り方が社会的な流れに合っていない印象が残っている。今後どのように変わっていくか、追跡して確認したい。

(委員)

1-③ 情報化推進事業

デジタル庁の創設や DX (デジタルトランスフォーメーション) など、自治体の情報推進は非常に重要になりつつある。定額給付金の手続き等の中で、行政機関のデジタル化は進んできているが、各省庁・自治体間などの連携ができていない問題が顕在化した。平成 29 年度にも外部評価に諮っているが、その後の進展も含めて確認したい。

2-② 新型コロナウイルス感染症拡大防止事業

経営者会議において「さらに重点化」と判断されていないが、所管課による重要事業選定を受けている。どのような内容のことを実施しているのか確認したい。

4-④ 観光振興事業

重要事業選定を受けており、経営者会議において「見直しのうえ、継続」と判断されている。どのような点を見直して、改善していくのか。その視点から確認したい。

【市の課題認識】

観光パンフレットの配布や各種雑誌への記事掲載など、従来型の情報発信手法に加え、Twitter や Instagram など SNS の更なる活用に努めること。また、市内に点在する観光スポットや観光施設等をどのように地域経済の発展に結びつけていくか、観光に特化したビジョン策定を進めること。

(委員)

具体的な事業名を挙げるのではなく、選定の考え方を述べる。本年度の外部評価結果の「はじめに」にある問題点を再確認したい。

ひとつ目は、「事業名称と内容にずれが生じている事業や、成果指標からイメージができなかったり、効果が測定できなかったりする事業がある」という点である。所管課に再度説明をしてもらうことにより、ぼんやりとした事業像がはっきりして、しっかりと評価できるようになると思われる。

ふたつ目は、「低評価で委員会に諮られ、肯定的な意見がほとんど出ない事業や委員会では廃止と判断した事業が最終判断で継続となる」という点である。こちらは、実のない作業になるかもしれないが、「なぜ、止めないのか」ということを言い続けたいといけない。引き続きのフォローが必要と考えている。

(委員)

2-① 放課後児童健全育成事業

どのような事業を実施しているのかを確認したい。

4-① 鳥獣駆除対策事業

どのような事業を実施しているのかを確認したい。

4-④ 観光振興事業

若い人たちはパソコンでインターネットを検索するよりも、携帯電話で Instagram などを見て情報を得ている。Instagram を見ていると、伊予市の宣伝をしてくれている、とても素敵な面白いページがある。発信の仕方や宣伝の方法を変えていくことを検討することで、もっと観光に力が入るのではないかと。

5-③ 広報紙発行事業

広報紙をどのような考えをもって編集や作成をしているのか、担当者に確認したい。

(委員長) 1-⑥ 消防団設備事業・消防団施設事業

評価に馴染まないものかもしれないが、予算額は結構な金額である。

2-① 放課後児童健全育成事業

どのような事業を実施しているのかを確認したい。

3-① 小学校 GIGA スクール整備事業・中学校 GIGA スクール整備事業

小学校に入学したらすぐに、1人に1台タブレットを渡して学習に活用するという驚きの事業である。いろいろな懸念もあるため、事業内容を確認したい。

4-① 鳥獣駆除対策事業

どのような事業を実施しているのかを確認したい。

5-③ 中山地域事務所管理事業・双海地域事務所管理事業

予算額に大きな差がある。その内容を確認したい。

(事務局)

各委員の発言をまとめた。読み上げるので確認をお願いしたい。

1-③ 情報化推進事業

1-⑥ 消防団設備事業

消防団施設事業

道路補助災害復旧事業

2-① 放課後児童健全育成事業

2-② 新型コロナウイルス感染症拡大防止事業

2-③ (介保)一般介護予防事業

3-① 小学校 GIGA スクール整備事業

中学校 GIGA スクール整備事業

4-① 鳥獣駆除対策事業

4-③ 商工振興助成事業

4-④ 観光振興事業

5-③ 広報紙発行事業

中山地域事務所管理事業

双海地域事務所管理事業

以上の15事業である。なお、委員から選定の考え方が示された、事業名称と内容にずれが生じている事業及び低評価の事業で委員会において廃止と判断したが、いまだに継続している事業については、事務局で再確認し追加させていただく。とりまとめた結果については、本日の会議録と共に郵送させていただく。

(3) その他

(未来づくり戦略室長)

本日の委員会が第7期の最後の委員会となるため、一言ご挨拶申し上げる。

皆さまには令和元年7月の第1回委員会を皮切りに令和元年度に8回、本年度も

8回の計16回の委員会にご参会いただいた。私は今年度から同席させていただいたが、皆さまが公私ともにお忙しい中、貴重なお時間を割いて熱心にご議論いただいたうえ、市政に対するご意見・ご提言を頂いたことに、厚く感謝申し上げます。

本年度が伊予市総合計画の折り返しの年に当たり、来月には令和7年度までの後期基本計画が策定され、4月には市長・市議選が実施される予定となっている。令和3年度は本市にとって新たな船出の年になりそうである。

昨年度の答申には、「伊予市のような行政評価制度を運用している自治体は県内にはなく、トップランナーとして自信とプライドを持って取り組むように」という記載があった。皆さまから頂いた有り難いお言葉に恥じぬよう、更なる事務改善と意識改革に努めてまいりたい。今回で一つの区切りを迎えるのだが、引き続きご指導いただければ幸いである。今後ともよろしくお願いしたい。